令和７年度　学校経営グランドデザイン

相模原市立緑台小学校

キャリア教育４つの力
つながる力（人間関係形成・社会形成能力）
自律する力（自己理解・自己管理能力）
見通す力（課題対応能力）
乗り越える力（キャリアプランニング能力）

緑台小学校　学校教育目標

進んで学ぶ子ども　豊かな心を持つ子ども　健康でたくましい子ども

かしこく　やさしく　たくましく

中学校区でめざす力
小学校のめざす力：自律する力
中学校のめざす力：乗り越える力

・友達や家族、地域の人に思いやりがあり協力しようとしている。
・学校での役割や仕事に対し前向きな気持ちで取り組める。
・決まりを守ろうと思っている子どもが多い。
・学習や生活の場面であきらめずに粘り強く取り組もうとしている。
・学校での学習や生活に意欲をもっている。
・将来の夢をもっている子どもが多い。

・自分の思いや考えを進んで伝えることが苦手と思う子どもがいる。
・学習で得た知識を活用したり、課題解決に向け自ら順序立てて考えたりすることが苦手である。
・行動を振り返って次の行動に生かせた経験が少ない。
・課題の根拠をつかんでそれをもとに考えたり解決したりする経験が少ない。
・自分の良さを振り返るチャンスが少ない。

自律する力

令和７年度　重点目標

自分で考えよう　自分でやってみよう

自主性

目指す学校像
・地域や保護者と子どもをあたたかく育む。
・整理整頓に努め、教室や施設の構造化を図る。
・安心・安全に努める。

目指す児童像
・思いやりを発揮できる。
・自主的に思いを伝える。
・見通しを自ら持って物事に取り組む。

目指す教職員像
・子どもの成長を認め喜び合う。
・子どもの自主性や見通しを促す指導を行う。
・協働する。

重点目標に対応する課題
・授業改善　・子どもの自己有用感　・地域の学校再編
・危機管理体制の充実　・OJT による人材育成

重点目標を考慮した具体的な取組

〇確かな学力を育む…学びプロジェクト

・学習内容や、学習を通して身につく力について、見通しをもてるようにするための声かけを行うとともに、子どもたちの自己選択、自己決定、自己調整の機会を確保する。

・子どもたちに身につけたい力を明確にし、スタートとゴールを意識した授業を行う。

・子どもたちが根拠をもとに自分の考えをもつことができるよう声かけを行うとともに、思いや考えを伝える機会、友だちと協働する機会を確保する。

・Chromebook を有効に活用し、子どもたちの情報活用能力、情報リテラシーを向上させていけるようにする。

・保護者との連携（連絡、情報共有、情報発信等）を強化し、教員と保護者の相互理解のもとに、学習指導を行っていく。

〇豊かな心を育む…心プロジェクト

・異学年交流など、子ども同士の交流を通して、子どもの自己肯定感・自己有用感を高められるようにする。

・意見交流や意思決定の場面を設定し、道徳教育、人権・福祉教育の推進を図る。

・自ら考え行動した経験を振り返り、学んだことを次にどう生かすか考える時間を確保し、経験や失敗を学びの場にできるように指導を行う。

・学校、家庭、地域、関係機関と連携し支援する体制について共通理解を図り、いじめ・不登校等への迅速な対応を行う。

・キャリア教育では、キャリア・パスポートを活用し、つながる力から自律する力を重点目標として取り組んでいく。

〇健康を育む…健康・安全プロジェクト

・けがの防止、心の健康や病気の予防について理解し、健康で安全な生活を営めるようにする。

・教科や学校行事と関連づけた健康教育（健康・安全・食・環境）を充実させる。

・健康的な生活習慣を推進し、手洗い、うがい、外遊びの励行を促す。

・安全（災害・火災・不審者対応・食物アレルギー等）についての職員研修を行い、児童の安全確保・安全教育へつなげる。

運営プロジェクト
・反省等から行事や日課の改善を見直し、子どもや教職員が元気な学校づくりに努める。
・学校の修繕に努め、安全に努める。
・外部団体との調整や、再編に向けての計画や準備を行う。

校内研究
・国語科の研究に全学年で取り組む。
・根拠を明らかにして自分の考えを持ち、相手に伝えていく子を育む研究にする。
・学年団で研究を深め、校内で授業を公開していく。
・特別支援学級は実態に合わせ国語科に限定せず公開を行う。

令和7年度　緑台小学校　重点目標

自分（じぶん）で
考（かんが）えよう

自分（じぶん）で
やってみよう